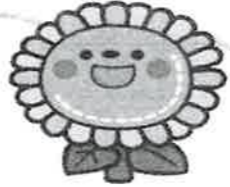




8月ほけんだより



2024年度
松葉保育園
看護師内山

猛暑が続いています。子どもたちは、そんな暑さの中でも夢中になって遊ぶので、水分の補給には十分に気をつけていきたいと思います。暑さに負けない体作りをするためにも、モリモリごはんを食べて、しっかりと睡眠をとりましょう。プール遊びや虫採り・花火など、夏ならではの楽しみもたくさんあるかと思ひます。怪我などなく、楽しい夏の思い出がたくさん作れるといいですね。

虫刺され・植物かぶれ

虫刺されも、植物かぶれも、まず絶対にかかないことが大切です。かいてしまうと傷から菌が入り悪化することや、とびひになることもあります。かき続けることで治りも悪くなってしまうので、十分に気を付けましょう。

蚊
子どもの場合、蚊に刺される免疫が少ないため、水ぶくれができることもあります。刺されたら患部を洗い、30分以内に炎症をとる薬を塗ると、症状が軽くなって済みます。

ダニ
市販の虫刺され用の薬で効果があります。人によってはアレルギーなどで、全身に発疹が広がったり、ぜんそくや皮膚炎を引き起こす場合もあるので、その場合は受診しましょう。

毛虫
毛虫の毛が皮膚に刺さって炎症を起こした場合は、患部にセロハンテープなどを貼ってはがすと毛が取れるため軽症で済むことがあります。また、直接触らなくても毛が皮膚に触るだけで強い皮膚炎を起こすこともあります。

ムカデ・ハチ
刺されるとすぐに強い痛みが出ます。腫れが強い場合は受診しましょう。以前にも同じ虫に刺されたことがあり、気分が悪い、息苦しいなどの場合にはアナフィラキシーショックの可能性があるため、早急に受診しましょう。

植物かぶれ
植物の中には発疹や水ほうなどを起こすものもあります。症状が出た場合、患部を触って広がらないように衣類を着替えたり、患部を流水で流し、かゆみ止めなどを塗ったりしましょう。水ほうは清潔なガーゼで覆います。患部が広がったり、かゆみが治まらない場合は受診しましょう。




7月の感染症

手足口病 ……29名(たけ6名、もも9名、きくゆり7名、すみれ1名、なでしこ5名、すずらん1名)

ヘルパンギーナ…3名(もも1名、すみれ1名、なでしこ1名)

マイコプラズマ肺炎…1名(すずらん)

8月の保健行事

1日(木) 乳児健診

6日(火) 身体測定



手足口病が流行しています！



■ 手足口病とは

- ・「手、足、口」中心に水疱性の発疹をきたす、初夏から秋にかけて流行するウイルス性感染症です。
- ・原因となるウイルスは数種類あり、乳幼児期に何度かかかることが多いです。また、ひとシーズンに2回かかることもあります。

■ 手足口病の症状

従来は発熱もあまりなく軽い夏かぜでした。最近流行する手足口病は高熱を伴うこともあり別の病気ぐらいの大きな差があります。

◎ 従来流行の主流 [EV71, CA16]

水疱性の発疹が手掌、手背、手指、足底、足背、口腔内や下腿、膝、臀部などにみられます。発疹は部位によっては痒みや痛みを伴うこともあります。発熱は軽度か認められないことが多いです。

◎ 最近の流行が多い [CA6]

発熱を伴いやすく高熱のケースもしばしばです。発疹は従来ある場所以外にも出現しやすく、臀部から下肢全体に広がったり体幹や頭皮にも出現しやすい傾向があり、発疹自体も従来よりも扁平で大きめなことが多いです。

(CA6はヘルパンギーナの原因にもなるウイルスです。そのため口内炎など口腔内の痛み、高熱などヘルパンギーナ様の症状を伴うこともよくあります。)

■ 手足口病の経過と治療

- ◎ 基本的には自然に治癒する病気です。発熱も2日程度まで、発疹は5～7日程度で自然に軽快します。治療も対症療法が中心となります。
- ※まれに治ってから1ヵ月後ぐらいに、爪が割れたりはがれたり、指の皮がむけたりすることがあります。
- ※まれに髄膜炎や脳炎を合併することもあります。

- ◎ 軽快した後も、ウイルスは2～4週にわたって便から排泄されています。
- ◎ 熱がなく元気で、ふだんの食事がとれる場合は登園できます。(登園許可証が必要です)

※こんな時はもう一度診察を

- ①4日以上高熱が続く時
- ②水分をあまりとらず、ぐったりしている時
- ③吐き続けて、ぐったりしている時

